

# はまぼうふう vol.39 2011. 6. 10.

## 石狩浜海浜植物保護センター通信

HP 上ではカラーでご覧になれます

### 石狩浜のファンをつくる

海辺の風景再発見フォーラム「いのちあふれる石狩湾～海と海辺、魅力とこれからを語る」を5/29（日）、開催しました。

各パネラーからは、石狩の海、海辺の魅力をお話いただき、起きている問題や、海との付き合い方について、改めて考えるきっかけとなりました。

コーディネーターの横松氏からは、「石狩浜の魅力、すばらしさ、自然の価値を知らない人がまだまだたくさんいる。いろいろな手法を使って「ファン」を増やすことがまずは目標」とのコメントがありました。

「海から陸への手紙である漂着物ウォッチングの楽しみ」「海はこわい。でもすべては海につながり、海と私たちは離れることはできない。子どもたちに『海』をどう伝えていくか。」「水とのふれあい、生き物観察、サンドアート、海藻押し葉などの遊びを通じて気がつく海・海辺の大切さ。」「大都市圏にあり、今なお本来の海浜生態系が残されている海岸は全国稀有。節度ある利用とすぐれた自然が共存する海辺を目標としたい。」との各パネラーからの言葉。



砂浜に流れ着いたオニグルミが芽を出していました。こんな光景も魅力の1コマです！

## 夏の自然教室へのおさそい

(詳細3ページ)

7/16 (土) 石狩浜自然案内人養成講座

7/31 (日) 海辺の草原生き物調査隊

7/23～8/7 までの土日 夏のミニ自然教室

8/4 (木) 海辺の草木染教室

8/27 (土) ハマナスのジャム作り教室

「今回のフォーラムを通して気づいていなかった海辺の現状を知った。海、海辺でレジャーを楽しむ若い世代自らが海、海辺を守る活動をしなければならない」と参加者からの力強いご意見も。

今回のフォーラムを機に、様々な手法で魅力発信に努めるとともに、新たなネットワークをつくり、ファンを増やす方法を探って行きたいと思います。

(海辺の風景再発見フォーラムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました)

## トピック

(2ページ)

名取ハマボウフウの会、七ヶ浜ハマボウフウの会 復興へ向けて始動

保護センターにヒキガエル現わる

## 名取ハマボウフウの会、七ヶ浜ハマボウフウの会 復興へ向けて始動

このたびの震災で活動地域が壊滅的な被害を受けた宮城県で  
海辺の保全活動に取り組む両会。海浜植物保護センターでは、  
開設当初の平成12年より情報交流、相互訪問等を重ねてきた経  
緯から、震災以降、情報収集に努めてきました。

4月、名取ハマボウフウの会の大橋会長より「海岸の海浜植  
物保護区でハマボウフウが芽吹いている。ハマボウフウの芽吹  
きに希望と勇気をもらった」との便りをいただきました。

6月18-19日には、全国各地の海辺の保全活動に取り組む  
団体が名取ハマボウフウの会主催の「ふるさと海辺フォーラム」  
に集まり、復興へのエールを送ると共に、海辺の保全について  
考えます。当センターからも現地へ赴きます。報告は次号で。



名取ハマボウフウの会の活動地、現在の名取市関上地区

**！！見て下さい！！**あの大津波にも負けずに力強く、新しい芽が数箇所確認されました。  
私達に生命力の強さを教えてくれているようにも見えます、砂の下からまだまだ芽が出ることを期待しております。  
一部根が出ているものについては手を加え盛り砂等試行錯誤しながら状況を観察し  
対応していきたいと思えます。



砂の流出もあり時期を見て盛り砂をしてやらないと根が枯れることも予測されますが現状では様子見の状況です、

関上海岸の保護地区で津波後に芽吹いたハマボウフウ（名取ハマボウフウの会会報「ぼうふっこ第18号」より）

### 海浜植物保護センターに ヒキガエル現わる

5/14自然観察会で、当センター海浜植物観察園のミニ  
ピオトープでヒキガエルの卵を発見しました。ヒキガ  
エルは、かつては北海道では函館の一部地域にしか生息  
していませんでした（これも人為的に持ち込まれた可能  
性が指摘されています）。しかし、「北海道ブルーリス  
ト\*2010」には、カテゴリーA3（本道に定着してお  
り、生態系等への影響が報告または懸念されている  
外来種）として掲載されています。

\*ブルーリスト；外来種のリストのこと。

これまで、石狩浜では確実な生息情報は得られていま  
せんでしたが、5、6年前に、はまなすの丘でヒキガエ  
ルを見たとの情報があったことを思い出しました。思え  
ばこの情報があった頃からヒキガエルは石狩川河口周辺  
に生息していたのかもしれない。

ただ、現在でも、石狩川河口部での生息情報（繁殖し、  
定着しているのかなど）は十分ではありません。当セン  
ターで確認した卵は、白いものが多く、日数が経っても  
孵化する様子はありませんでしたが、すべてをミニピオ  
トープから除去しました。

ヒキガエルの生態系への影響  
は、地表性昆虫を捕食すること  
などが考えられていますが、本  
来生息していなかった環境に新  
たな生物種が生息するようにな  
った場合、予測を超える影響が  
及び可能性も十分考えられます。

まずは、石狩川河口部のヒキ  
ガエルについて、情報をお持ち  
の方は、ぜひお寄せいただければと思います。



卵：ひも状のゼリー質の中  
に卵がある。今回発見した  
ものは、白い卵が半分以上  
だった。



成体：体長 4～16cm。  
背中にイボがある

参加者募集

**石狩浜自然案内人養成講座**

石狩浜の自然を楽しく学び、魅力を伝えるスキルを身に付けます。自然教室の企画、運営、サポートなどにかかわりたい方大歓迎！！

日時：7月16日(土) 10:00~16:00

集合：9時30分石狩市役所

または9時50分海浜植物保護センター

定員：15名 対象：高校生以上

参加費：無料

持ち物：昼食・筆記用具・帽子・タオル・軍手

申込締切：7/14(木)

**海辺の草原生き物調査隊**

カシワ林や海浜植物群落にはどんな生きものがくらしているのでしょうか。ノネズミや昆虫の生息状況を、しかけた罠を回収しながら調べ、海辺の草原の生態系についてやさしく学びます。

日時：7月31日(日) 10:00~15:00

集合：9時札幌駅北口または9時30分石狩市役所

定員：30名

対象：小学4年生以上(小学生は保護者同伴)

参加費：高校生以上300円 中学生以下100円

持ち物：昼食・筆記用具・帽子・タオル・軍手・長靴

申込締切：7/24(日)

**海辺の草木染教室**

ハマナスの根や葉、その他の海浜植物を用いて綿のハンカチまたはシルクのストールを染めます。オリジナルの絞り模様も付けられます。

※ハマナスの根は、センター海浜植物観察園の手入れを兼ねて採取します。

日時：8月4日(木) 10:00~15:00

集合：9時50分海浜植物保護センター

定員：10名 対象：小学生以上(3年生以下保護者同伴)

参加費：高校生以上300円 中学生以下100円

プラス材料費(ハンカチ150円、シルクストール600円 ★選べます)

持ち物：昼食・筆記用具・軍手・エプロンまたは汚れてもよい服装、お持ちの方は剪定ばさみ

申込締切：8/2(火)

**夏のミニ自然教室**

石、貝、木の実、海浜植物の葉や花、タネなど、海辺の素材を使ったクラフトを楽しみます。夏休みの自由工作にもぜひご利用ください。あわせて、海浜植物観察園のミニガイドツアーも実施。砂丘の自然をやさしく学べます。

クラフトのメニュー(選んで取り組めます)

- ♪海浜植物の押し葉押し花しおりづくり
- ♪海浜植物の葉っぱスタンプはがきづくり
- ♪ペーパーウエイト
- ♪壁かざり
- ♪ハマニンニクのコースター

日にち：7月23,24,30,31日、8月6,7日  
(いずれも土日)

会場：海浜植物保護センター

時間：11時~15時(時間内出入り自由)

定員：なし 対象：5歳以上

参加費：無料

持ち物：作品を持ち帰る袋など

申込は不要です。時間内自由に出入りできます。

**ハマナスのジャムづくり教室**

初秋、ハマナスの実が色づいてきます。赤く輝く実は、野生の美味。ビタミンCも豊富で美容にも効果あり！ジャムにして自然の恵みを楽しみましょう。海辺の自然をやさしく学ぶウォッチングも行います。

日時：8月27日(土) 10:00~15:00

集合：9時50分海浜植物保護センター

定員：20名 対象：小学生以上(3年生以下保護者同伴)

参加費：高校生以上300円 中学生以下100円

持ち物：昼食・筆記用具・軍手・小さなスプーン(種を取り除くため)・果物ナイフ(大人のみ)

申込締切：8/25(木)

※定員はすべて先着順です。申込先は、4ページ最下欄をご覧ください。

**最近の活動**

**はまなすの丘景観保全作業**

**4月25日(月)** 石狩灯台周辺の海浜植物群落の景観を守るため、増えているニセアカシア、アキグミ、ススキなどの除去と、ゴミ拾いを行いました。しかし、途中から雨が降り出して中止。それでも、総勢50名ものボランティアさんの参加をいただきました。

参加団体：石狩市緑化推進協議会、石狩ライオンズクラブ、親船高齢者クラブハマナス会、石狩植物愛好会、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、センター運営委員会



マクンベツ湿原で エゾアカガエル発見！



増えているアキグミ、ニセアカシアを除去。

**石狩浜マクンベツ湿原自然観察会**

**5月14日(土)** 寒さと強風のあいにくの天候での開催となりました。マクンベツ湿原では、例年より2週間遅く咲くミズバショウの花がまだ見られ、石狩浜では、ようやく咲き始めたイソスミレの花を楽しむことができました。野鳥は、ヒバリ、カワラヒワ、ノビタキ、ホオアカなど草原の野鳥のほか、マクンベツ湿原では、ハンノキの樹上の巣で卵を抱くトビや、石狩川の川面に浮かぶマガモ、コガモなどを講師の先生が望遠鏡に映し、観察しました。また、エゾアカガエルも発見！海浜植物保護センターでは、ヒキガエルの卵も(2ページで紹介)。参加者41名。

**海辺の風景再発見フォーラム**

**5月29日(日)** 石狩の海と海辺の魅力を道央圏へ発信するため、札幌市での開催。会場のかでる2・7には、105名の参加者が集い、石狩湾海の中の生き物の映像講座や、パネルディスカッションで魅力とこれからを語りました。海の中の生き物や、砂丘植生の現状など、初めて知る人が多く、将来へ向けた課題とともに、石狩の海の魅力を広く発信することができました。



**今後のセンター企画展示コーナー予定**

- 6月末～7月末 虫たちがつくる石狩浜の自然写真パネル展
  - 7月末～8月末 海辺の環境保全ポスター展
  - 8月末～9月末 海辺の草原生き物調査隊調査結果パネル展
- ★みなさんからの展示物も募集しています！  
写真・作品など、お寄せください♪

問合せ

4/29～11/3: 石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1 tel.0133(60)6107

申込み

11/4～4/28: 石狩市役所市民生活部内 〒061-329 石狩市花川北 6条 1丁目 30-2 tel.0133(72)3240

email. [ihama@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp)

HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>